

最終日の討論より



★令和3年度当初予算

① 義農大賞 ② 浄化槽設置整備補助金 について討論

1 反対



曾我部

「義農大賞」は、義農作兵衛さんに対する冒瀆である。

作兵衛さんは、「身を犠牲にして何百人の村人の命を救うことができたなら、私の本望。」と言っている。麦種を一粒も食わず、死去された。これが義農精神と言われるものである。

「義農大賞」でやろうとしていることは、町民から集めた税金を、困っていない委託業者、受賞者や表彰式イベント関係者に渡すことである。

作兵衛さんがこのことを知ると、「そんなことをしてまで、私の名前を広めることはない。そんなお金があるのなら、町民のために使ってほしい。」と涙ながらに訴えるのではないのか。人の名前を使用した事業をするのであれば、その人の生き方を尊重すべきで、決して汚すようなことをしてはならない。

賛成



岡井

新型コロナウイルスの感染の収束が進まない中、ワクチン接種も含まれていない予算案は、他に子育て、大雨に対する防災、雨水対策など町民の暮らしに直結する内容となっている。

義農大賞は、義農精神を全国に普及するいい機会である。松前町を、北海道の松前まつまえとは違うことを知ってもらおう知名度アップのためにいい事業だ。予算案が原案通り早期成立するように望む。

2 反対



伊賀上

合併処理浄化槽設置の補助金が、新築の場合は令和2年度で終了になり新年度からは出ないと聞いた。

2月発行の広報まさきにその件がすでに掲載されていた。議会には、知らされず公表するとは議

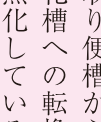
会軽視と言わざるを得ない。地域の区長さんたちにも知らされていない。

今まで下水道事業には120億円からの資金が投入され、今後10年間で30億円が予定されている。町内の下水道の延伸は松前地区だけで、岡田や北伊予地区には予定されていない。その間の平等性を担保するための合併処理浄化槽への補助金だった。

県から補助が出ないと、国の方針などを理由に変更するならば、1年ぐらいの猶予が必要だ。

町長の英断をもって義農大賞を1年後に、補助金はそのままお願いしたく、この予算案には反対する。

賛成



渡部

くみ取り便槽から合併処理浄化槽への転換に予算を重点化している。新築の場合は合併処理浄化槽の設置が義務化されており、対象から外すことはやむを得ない。

当初予算案には、町民の生命と健康被害にかかわるワクチン接種、産後ケアや養育支援訪問、松前小学校放課後児童クラブの建設など、子育て支援の充実、福祉の向上や安全な暮らしを守るための予算が計上されている。

義農大賞は義農精神を後世に引き継ぐために効果的で発信力のある取組である。住民生活に支障をきたさないよう速やかに可決を。

賛成



渡部

令和3年度から「浄化槽設置補助金」の対象を単独浄化槽又はくみ取り便槽からの転換設置に限ることになる。近隣の松山市も補助を行っている。国も単独浄化槽及び

注釈

・新築に対する「浄化槽設置補助金」は、伊予市、砥部町など近隣市町で継続しているところもある。
・修正案可決でも4月から予算は執行できる。

賛成



藤岡

★総務産業建設常任委員会で否決された「連携中核都市圏形成」連携協約の一部を変更する議案について、**原案賛成の立場で討論**

中予地域では松山市を中心として伊予市、東温市、久万高原町、松前町、砥部町の3市3町がそれぞれ連携協約を締結した。議会としても平成28年6月に議決した。松山市が市町間調整などを行い市町間の連絡連携等がスムーズになり経費、事務負担も軽減される。また年間最大1500万円の特別交付税措置を受けることができる。今回の連携協約では、産後ケア対策や災害時の廃棄物処理などに関する連携の推進が取り組まれている。以上のように本町にとって利益が大きく、原案通り可決すべきだ。

関連記事は11ページに